

DV専門相談

配偶者・パートナーからの暴力にひとりで悩んでいませんか？

DVとは、配偶者または事実婚のパートナーなど親密な関係にある男女間における暴力のことを言います。暴力は、殴る・けるなどの身体的な暴力だけでなく、人前でバカにしたり生活費を渡さないなどの精神的暴力や、性行為の強要などの性的暴力も含まれます。また、高校生や大学生など、若い世代でも、交際相手から受ける暴力（デートDV）の被害者が増えています。

板橋区では、平成23年4月1日より、DV専門相談を始めました。専門の資格を持った相談員がカウンセリングします。まずは、電話でご予約ください。



（以下、相談者を「相」、総合相談員を「総」と表記する）

相：今僕は40代なんですが、20代の時に思い描いていた夢や希望からはかけ離れていて、「あれ？ こんなだっけ？」と言いたくなるような日常です。

「無縁社会」や「ネットカフェ難民」などと聞くたびに、「明日は我が身」という思いです。今から老後を気にするのは後ろ向きな氣がするので、もっと前向きにしたいんですが、どうしたらいいでしょうか？

相：そうですね、お話を伺うと、今のあなたが老後を愁うよりもこれから的生活をどう楽しくしていくかってことが大切な気がしますね。その積み重ねが老後を明るいものにしていくでしょうし。

でも人生って楽しいことばかりじゃないですか？ 苦しいこと、煩わしいこともある。でもそこから目をそらしていくても楽しいことにはなかなか出合えない。

相：なるほど。今の積み重ねなくして老後の生活は語れないですもんね。

相：ええ。よくご夫婦の話で、奥さんが先に亡くなつて食事に困るとか印鑑や保険の書類がどこにあるか分からぬって話が出ますが、それはお互いに前もって話し合つておけばいい訳で、自分の身の回りのことを自分でできる習慣にしてしまえばいいと思いますよ。

相：ええ、どうぞ。お待ちしていますよ。

と思うんですよ。

相：僕も料理や洗濯、片付けなど苦手です。実家に居た時も僕の部屋だけ汚くて「お前の部屋はまるでお化け屋敷みたいだ」と言わっていました（笑）

総：今は断捨離とかブームでしよう？ 自分で工夫してね、できる所から少しずつやってみるといいですよ。

あつ、私もいつもこんなに喋らないんです。いつもは「ええ…」とか「フンフン…」とか（笑）話を聴くだけなんですが、今日はつい、喋つてしまつてしまつて

何人かで集まつて、話しながら不安や悩みを共有することで、「悩んでいるのは自分だけじゃない」とて気付き、気持ちを楽にされるのもいいかもしれませんよ。

相：それはいいかも。いろんな方と話してみるとたくさん発見があつて楽しいですね。相談員さんともまたいつかお話したいです。次回は実際にお電話しようかな。

相：ええ、どうぞ。お待ちしていますよ。

感想

相談に対してもアドバイスをして、どのように話をまとめてくださるのか、興味を持つてお話を伺いました。自分が逆の立場だったら考え込んでしまう場面でも、間を置かずアドバイスされたことに驚きました。先を思ふ懶むよりも今を充実させることに気持ちを注ぐ、自立するという方向の視点は「お見事！」の一言で、またお話を伺つてみたくなつてしましました。

特集 誰かに何かを相談したいと思ったとき



パープルリボン・プロジェクトとは

パープルリボン・プロジェクトとは、国際的な女性に対する暴力根絶運動です。板橋区でも、運動のシンボルである「パープルリボン」を活用し、女性への暴力防止に向けたメッセージを広く発信していきます。

相談日時	毎週月曜日、木曜日 10時～12時、13時～17時（祝日・年末年始を除く）	相談方法
面談	※面談が基本ですが、希望があれば電話でもお受けします。	問合せ・予約 電話：03-3579-2790 月曜日～土曜日 9時～17時（祝日・年末年始・施設点検日を除く）